

■良源(慈恵大師・元三大師) 僧。比叡山中興の祖であるが、門閥化・世俗化を招き、長期にわたる紛争の因となった。

りょうげん

・ ・ ・ ・ ・ 912 = 近江国浅井郡に生れる。

・ ・ ・ ・ ・ 921 = 9歳：

道真本官復位 923 = 11歳：_比叡山に上って理仙に師事し，

・ ・ ・ ・ ・ 928 = 16歳：_出家，尊意に従って受戒した。

忠平摂政復活 930 = 18歳：

承平天慶乱始 935 = 23歳：*興福寺維摩会で南都の僧義昭と論争して有名になり，摂政藤原忠平に知られた。

平将門新皇・ 939 = 27歳：

承平天慶乱終 941 = 29歳：

京群盗横行・ 948 = 36歳：

藤原忠平没・ 949 = 37歳：*忠平の死去後，藤原師輔は一家の繁栄を祈って，良源の住む横川禰庵院に法華三昧堂を建て，師輔一門と良源との間に師檀の関係が成立した。

呉越国返書・ 957 = 45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 963 = 51歳：宮中で応和宗論が行なわれたのは，良源が藤原氏の氏寺興福寺を攻撃したからで，その宗論で良源は天台教学を強調した。

・ ・ ・ ・ ・ 966 = 54歳：*延暦寺座主となると，火災直後の東塔の堂舎を再建し，さらに東塔に檀那院，横川に恵心院を開いた。

安和の変・ ・ 969 = 57歳：

・ ・ ・ ・ ・ 970 = 58歳：「二十六ヶ条起請」を制定して山内の綱紀をただし，教学・法会の振興を期した。そのために比叡山中興の祖と仰がれたが，性急な繁栄策が，摂関家の権勢を利用し，荘園の拡大に向けられたので，比叡山の門閥化と世俗化を招く結果となった。円仁派(山門)・円珍派(寺門)の二門流が互いに勢力を振るって対抗するようになったのも，良源のころからである。

・ ・ ・ ・ ・ 972 = 60歳：この年に書いた自筆の遺言書「慈恵大師自筆遺告」(国宝)がある。

・ ・ ・ ・ ・ 975 = 63歳：他に「極楽浄土九品往生義」，

永観荘園整理 984 = 72歳：

往生要集・ ・ 985 = 73歳：_没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，